

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス	開設学科		健康栄養学部		
科目名称	キャリア入門					授業形態	講義		
科目コード	160001	単位数	2単位	配当学年	1年	実務経験教員	○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	袖木崎 千春								
授業概要	<p>本科目では、「キャリア・デザイン」をキーワードとしたい。            本科目では、受講生一人ひとりの自己理解を促し、それを踏まえた仕事・職業理解を行い、自身のキャリアについてデザインしていく力をつけることを目指す。            担当教員は、企業において多様な人々と協働してきた経験から、組織で働く上で身に着けるべきスキルについて、具体例を示すことができる。これからの人生の不確実性にどう向き合うか、受講生とともに考える。</p>								
関連する科目	フレッシュマンアワーなど大学生活の導入的(ガイダンス)科目・各自進路に係る科目と関連する。								
授業の進め方 と方法	<p>本科目では、「キャリア・デザイン」をキーワードとしたい。            本授業は、講義形式で実施する。            一部の回では、受講者をグループ分けし、グループディスカッションや課題発表を予定している。            これにより受講生が主体的に学ぶようにする。            チャプターごとに講義の目的・目標の把握を示してから授業を進める。</p>								
授業計画 【第1回】	1. 現代社会とキャリアデザイン～キャリアデザインの基礎理解～（第1章） キャリアデザインの重要性と本科目の意義を理解する。 学修到達目標について説明する。								
授業計画 【第2回】	2. キャリアデザインと人生設計①～職業と人生理解～（第2～3章） 現代人のライフサイクルと職業生活								
授業計画 【第3回】	3. キャリアデザインと人生設計②～キャリアの広がりや生涯発達～（第4章）								
授業計画 【第4回】	4. キャリアデザインのための自己理解①～自分の職業観・自己分析～（第5章・第6章）								
授業計画 【第5回】	5. キャリアデザインのための自己理解②～自分を知る(エゴグラム検査)								
授業計画 【第6回】	6. キャリアデザインとコミュニケーション～「自分を表現する：コミュニケーションと自己理解」 コミュニケーションスキルの重要性を考える。								
授業計画 【第7回】	7. キャリアデザインと仕事理解①～学生生活で得るキャリア意識の明確化～（第7章）								
授業計画 【第8回】	8. キャリアデザインと仕事理解②～経済・雇用環境に応じた働き方の理解～（第8章）								
授業計画 【第9回】	9. キャリアデザインと職場理解①～インターンシップを活用したキャリア考察～（第9章）								
授業計画 【第10回】	10. キャリアデザインと職場理解②～キャリア形成と求められる基礎能力～（第10）								
授業計画 【第11回】	11. キャリアデザインと職場理解③～職種や業種と自分の適職～（第11章） 自分で創り出す「適職」と企業研究の必要性について								

授業計画 【第12回】	12. キャリアのケーススタディー①～具体的な事例で考える将来設計～（第12章）
授業計画 【第13回】	13. キャリアのケーススタディー②～さまざまなキャリア形成のあり方～（第13章）
授業計画 【第14回】	14. キャリアデザインに向けて①～キャリアデザインの方向性をつかむ～（第14章）
授業計画 【第15回】	15. キャリアデザインに向けて②～キャリアデザイン全体の振り返り～（第15章） キャリアデザイン全体を振り返る（初期の目的・必要性の理解と学修達成度について） 学修到達目標達成に係る評価説明
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 社会変化などにより「キャリア・デザイン」が重要となっていることを理解する。</li> <li>② 自己理解を深め、自分の生き方を考える。</li> <li>③ 大学における学修の意義を検討し、自分の将来へ生かせるようにする。</li> <li>④ 社会状況なども考慮し「仕事」や「生活」の在り方を考え、自身の将来像を考える。</li> <li>⑤ 自身の成長を踏まえ「キャリア・デザイン」を充実させる力を身に付ける。</li> <li>⑥ 授業終了期には、学修成果として自己評価（到達目標達成度表作成）できる。</li> </ul>
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)
授業時間外の学修 【予習】	<p>【予習】（15時間） 指定された教科書を事前に読み、次回の講義内容を把握する（予習30分程度） 次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を各自で調べる（予習30分程度）</p> <p>【推奨する学習】（30時間） 科目の特性上、先人(人生の先輩)などの学習や職業に関する考え方を自主的に学んでほしい。 ① 大学生活のガイドブックなどを参照し大学における学習のあり方や進路について検討してほしい。 ② 自分の進みたい進路などについての参考資料(書籍・雑誌、サイト)を参照してほしい。 ③ 人生の先輩の著書などを読み、生き方などを考えてほしい(テレビなどで可)。</p>
授業時間外の学修 【復習】	<p>【復習】（15時間） 授業終了後に示す課題についてレポートを作成する（1時間程度）</p> <p>【推奨する学習】（30時間） 科目の特性上、先人(人生の先輩)などの学習や職業に関する考え方を自主的に学んでほしい。 ① 大学生活のガイドブックなどを参照し大学における学習のあり方や進路について検討してほしい。 ② 自分の進みたい進路などについての参考資料(書籍・雑誌、サイト)を参照してほしい。 ③ 人生の先輩の著書などを読み、生き方などを考えてほしい(テレビなどで可)。</p>
課題に対する フィードバック	第15回までの提出物は返却する。 これまでの提出レポート（学びのの積み重ね）が最終レポート作成に影響する。 第16回目に該当する最終レポートの提出時に評価のポイントなどを再度説明する。
評価方法・基準	以下の項目に基づいて評価します。 1) 課題レポートなどの提出物 40点 2) 小テストおよび 到達目標達成度評価レポート等 40点 3) 授業中の取組と振り返りシート 20点
テキスト	書名：『理論と実践で自己決定力を伸ばすキャリアデザイン講座 第3版』 ISBN：978-4-8222-9592-9 2021年3月2日 価格：2,000円程度 著者名：大宮登（高崎経済大学名誉教授）ほか5名 発行元：日経BP社
参考書	適宜紹介する
備考	テキストに付されている各種シート（チェック・ワーク・振り返り）を活用しますので、 テキストは必ず購入すること。